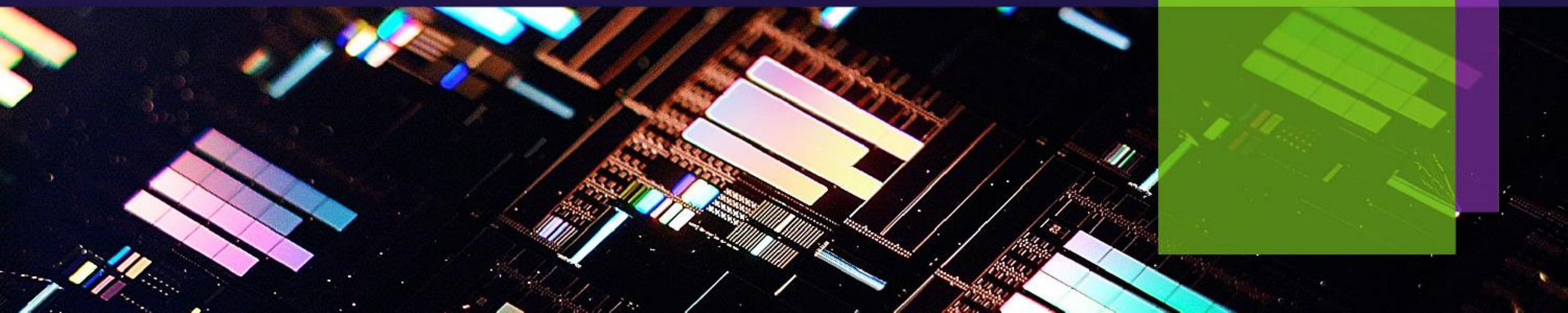


2024年3月期 第1四半期（2023年4月～6月） 東京エレクトロン 決算説明会

2023年8月10日

内容：

- 連結決算の概要 川本 弘 常務執行役員 ファイナンスユニットGM
- 事業環境および業績予想 河合 利樹 代表取締役社長・CEO



将来予想等に関する記述

- 将来見通しについて

本資料に記述されている当社の事業計画、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、地政学的リスク、半導体/FPD*市況、販売競争の激化、急速な技術革新への当社の対応力、安全・品質管理、知的財産権に関するリスク、新型コロナウイルス感染症の影響など、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

- 数字の処理について

記載された金額は単位未満を切り捨て処理、比率は1円単位の金額で計算した結果を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

- 為替リスクについて

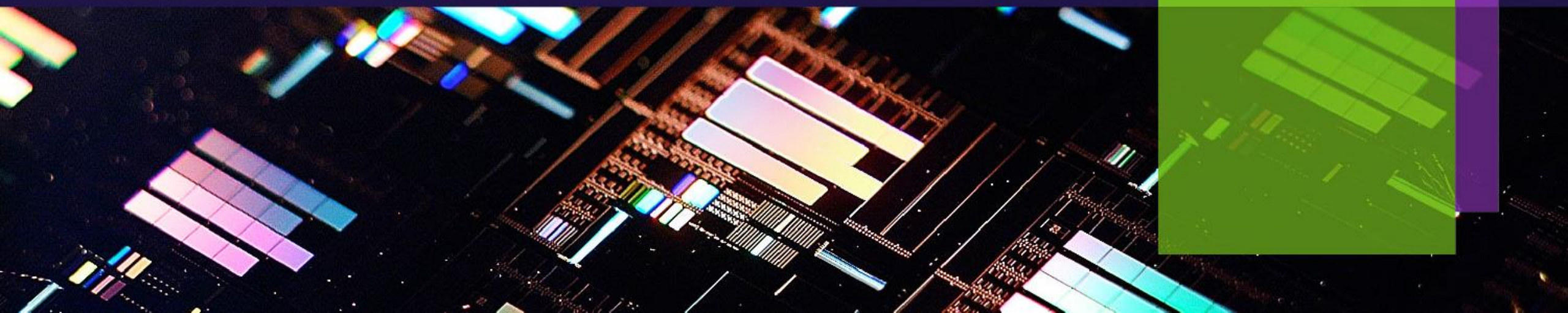
当社製品の輸出売上は、原則円建てでおこなわれます。一部に外貨建売上および費用計上もありますが、極端な為替レートの変動がない限りにおいては、利益への影響は極めて軽微です。

* FPD : フラットパネルディスプレイ

第1四半期 連結決算の概要

2023年8月10日

川本 弘
常務執行役員 ファイナンスユニットGM



損益状況（四半期）

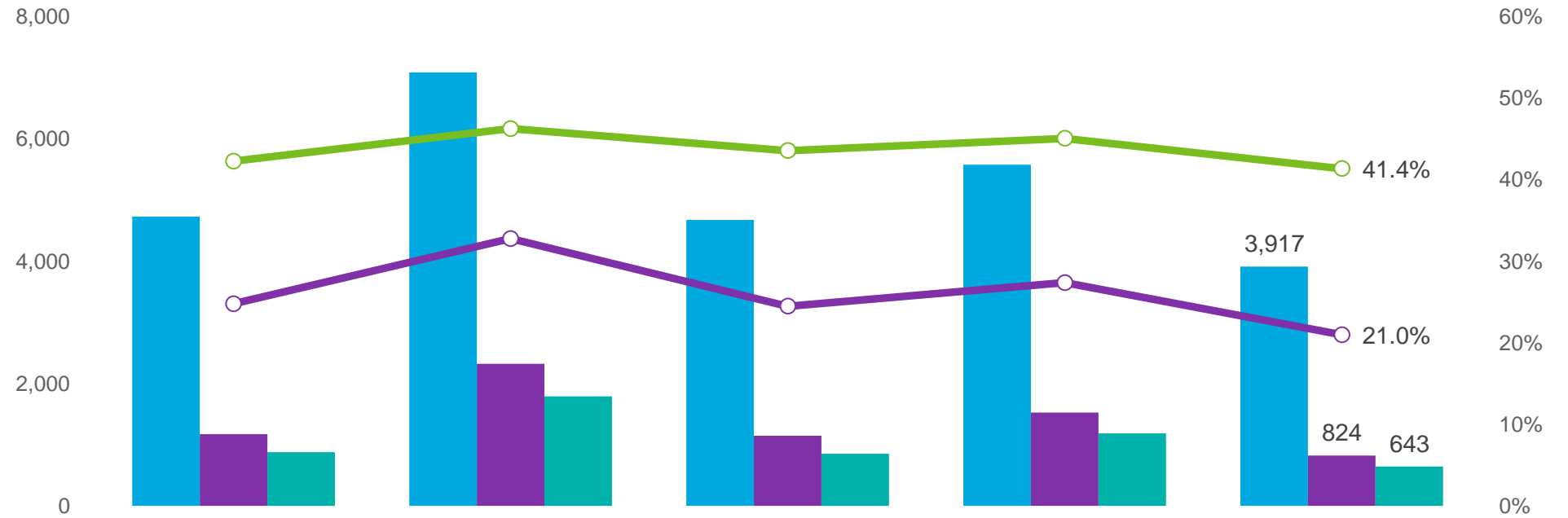
（億円）

	FY2023				FY2024	QoQ	YoY
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	vs. Q4 FY2023	vs. Q1 FY2023
売上高	4,736	7,092	4,678	5,582	3,917	-29.8%	-17.3%
売上総利益	2,005	3,282	2,039	2,516	1,623	-35.5%	-19.1%
売上総利益率	42.3%	46.3%	43.6%	45.1%	41.4%	-3.7pts	-0.9pts
販管費	830	956	891	989	798	-19.2%	-3.8%
営業利益	1,175	2,326	1,147	1,527	824	-46.0%	-29.9%
営業利益率	24.8%	32.8%	24.5%	27.4%	21.0%	-6.4pts	-3.8pts
税金等調整前当期純利益	1,176	2,352	1,163	1,556	830	-46.7%	-29.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	880	1,792	855	1,186	643	-45.8%	-27.0%
研究開発費	421	491	461	537	436	-18.8%	3.6%
設備投資額	180	173	125	263	393	49.2%	117.7%
減価償却費	97	98	112	120	106	-12.0%	9.0%

1. 当社製品の輸出売上は、原則円建てでおこなわれます。一部に外貨建売上および費用計上もありますが、為替レート変動による利益への影響は極めて軽微です。
2. 利益率および増減率は、1円単位の金額をもとに計算しています。

損益状況（四半期）

(億円)
8,000



FY2023

FY2024

Q1

Q2

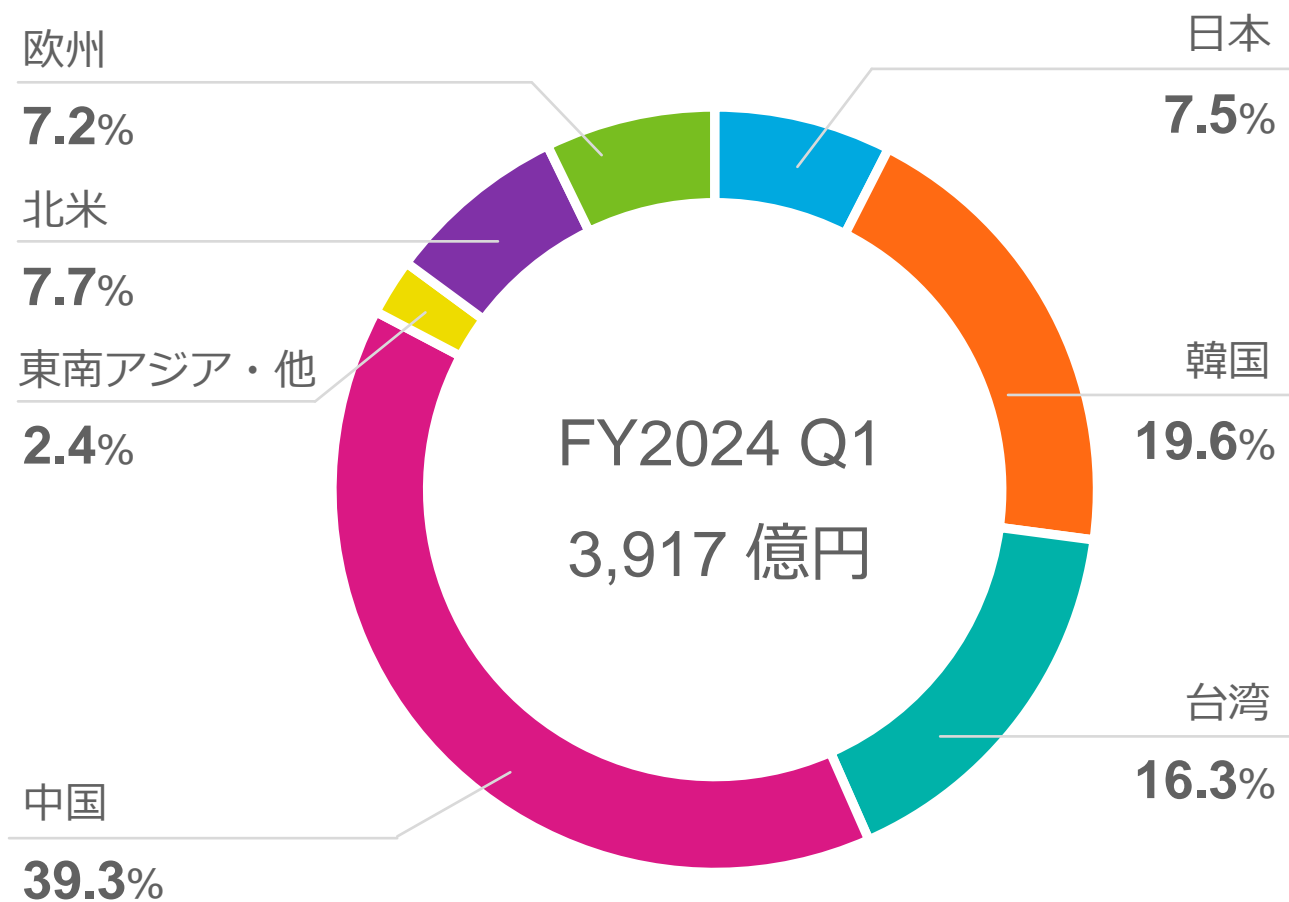
Q3

Q4

Q1

■ 売上高	4,736	7,092	4,678	5,582	3,917
■ 営業利益	1,175	2,326	1,147	1,527	824
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	880	1,792	855	1,186	643
○ 売上総利益率	42.3%	46.3%	43.6%	45.1%	41.4%
○ 営業利益率	24.8%	32.8%	24.5%	27.4%	21.0%

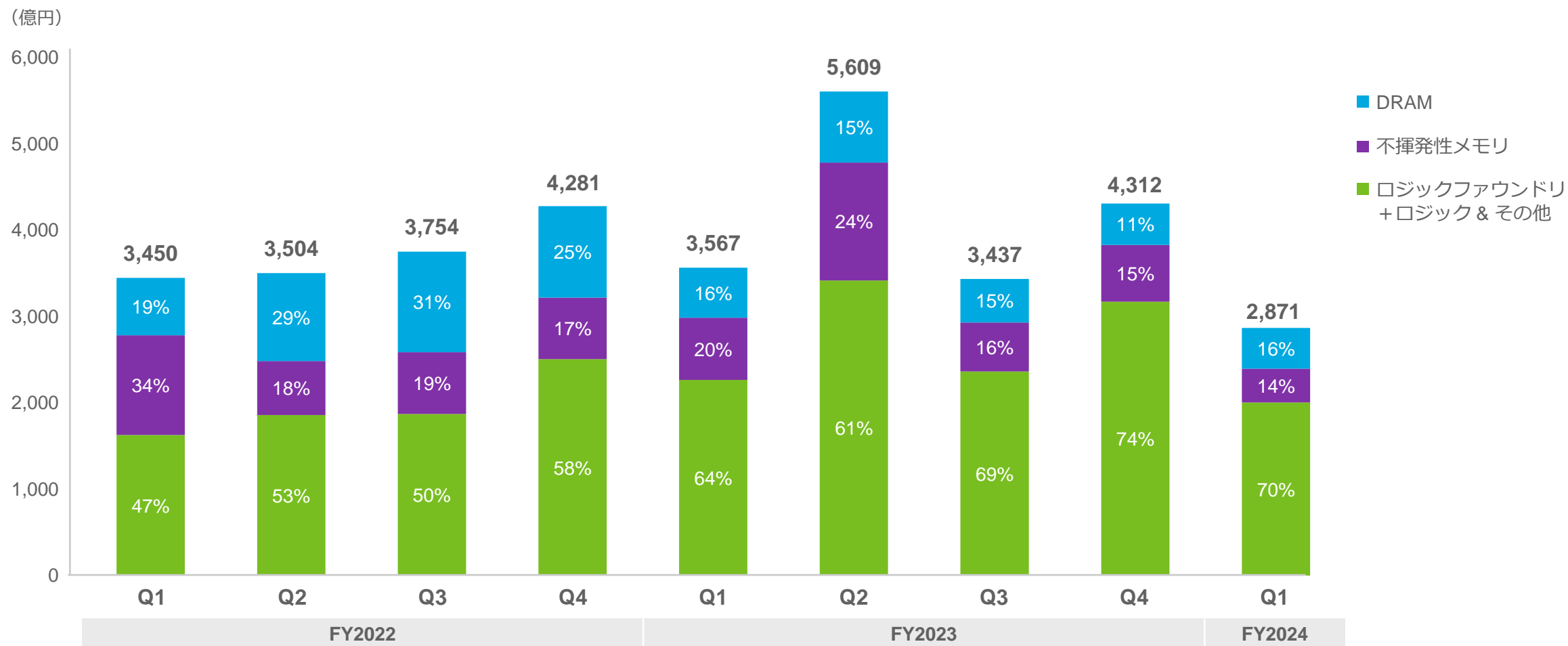
地域別売上高構成比 (FY2024 Q1)



*今期からFPD売上高を含む

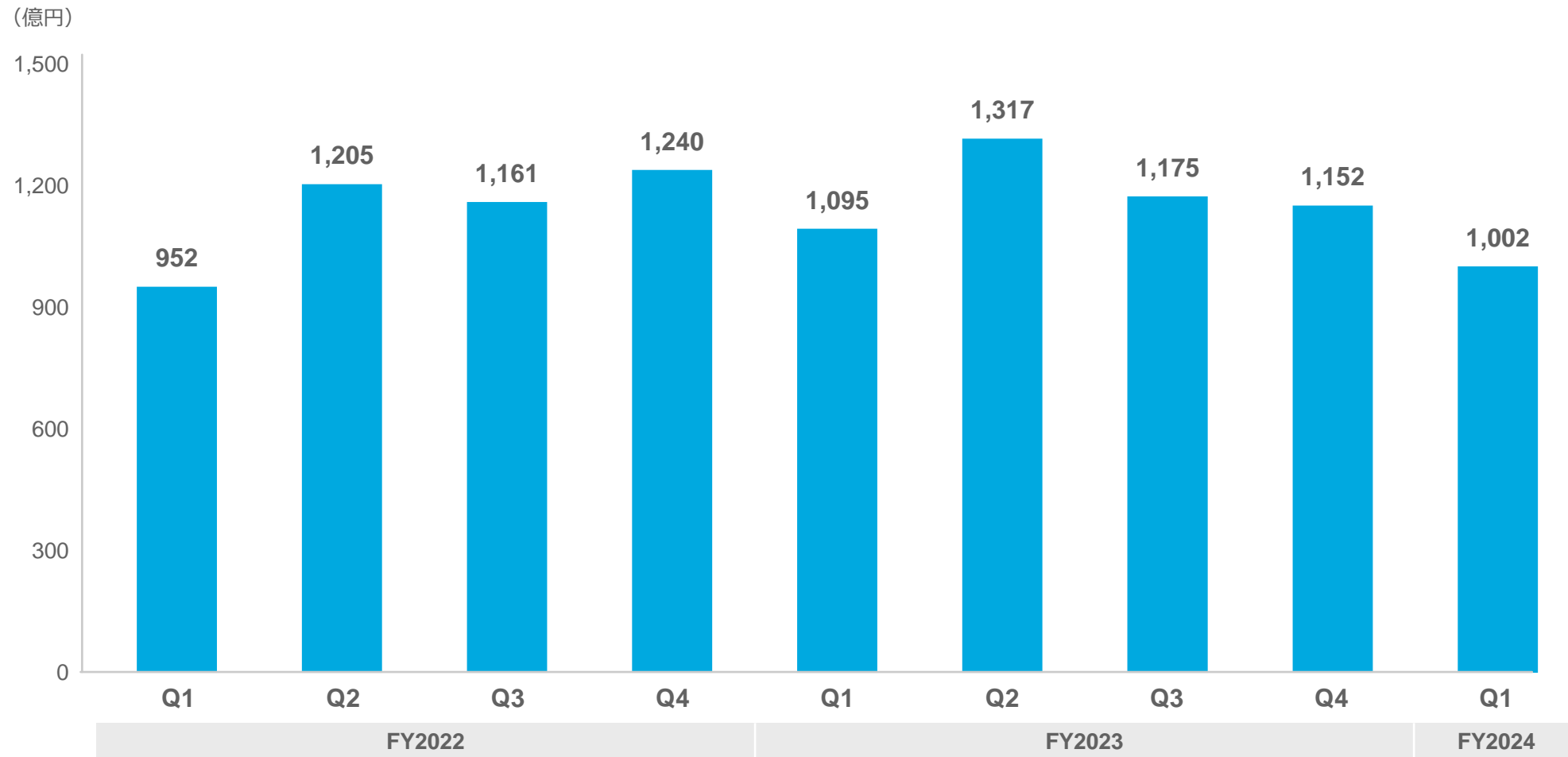


SPE新規装置 アプリケーション別売上構成比（四半期）



*グラフは新規装置の売上高における構成比を示しています。フィールドソリューションの売上高は含まれていません。

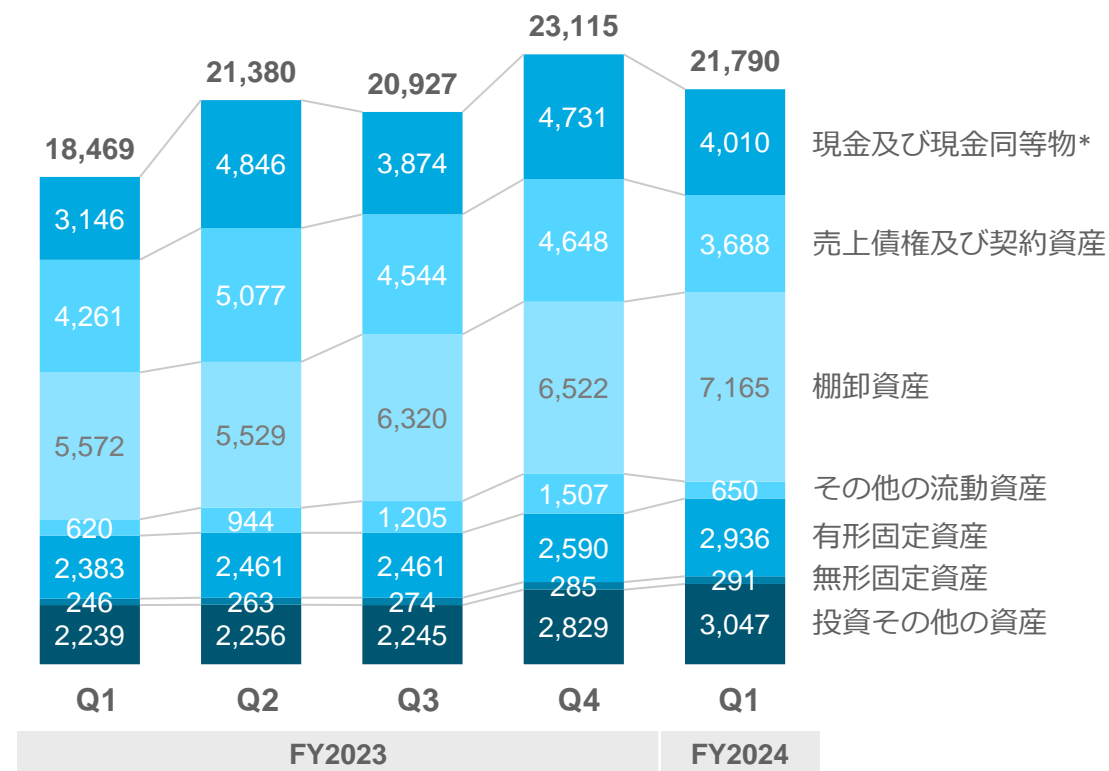
フィールドソリューション売上高（四半期）



貸借対照表（四半期）

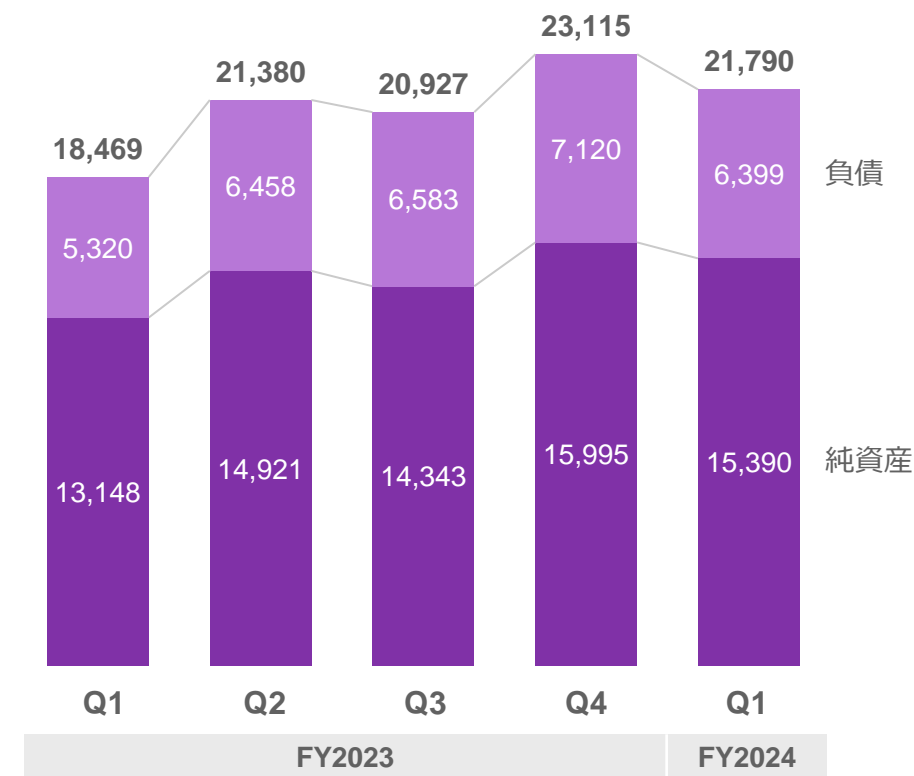
資産

(億円)



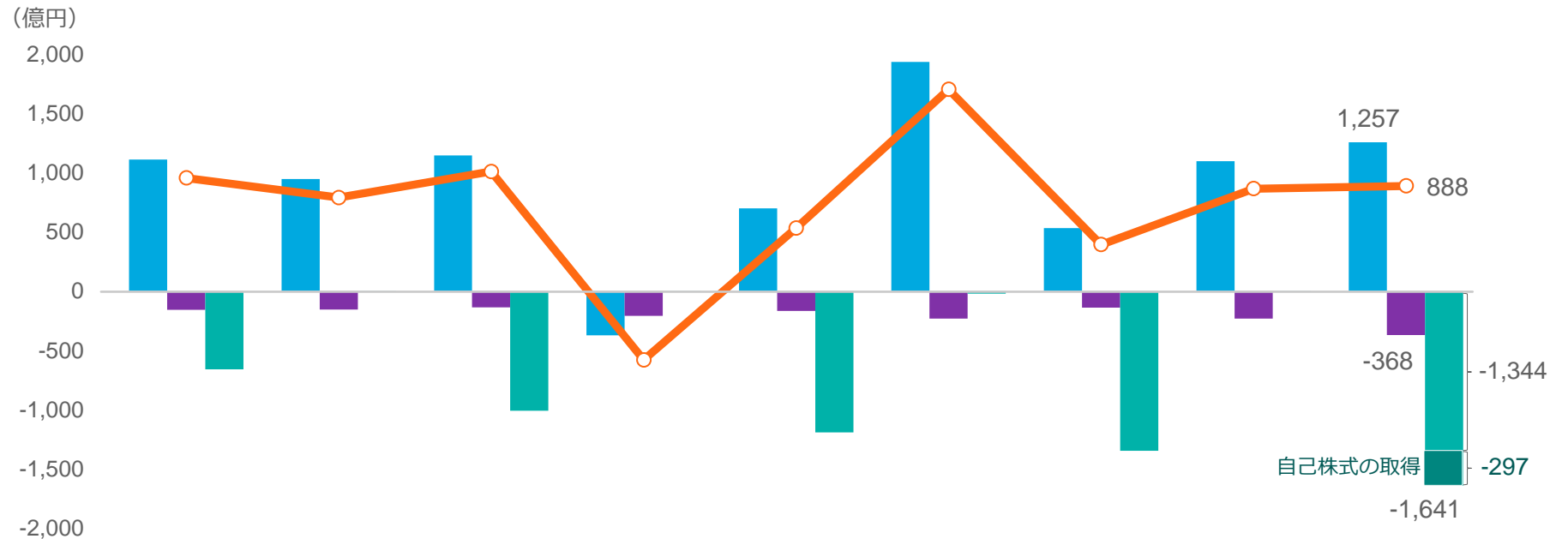
負債・純資産

(億円)



*現金及び現金同等物：現預金 + 短期投資等（貸借対照表上の表示は有価証券）

キャッシュ・フロー（四半期）



	FY2022				FY2023				FY2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
■ 営業キャッシュ・フロー	1,112	946	1,146	-371	699	1,934	532	1,096	1,257
■ 投資キャッシュ・フロー ^{*1}	-157	-155	-135	-207	-166	-231	-138	-231	-368
■ 財務キャッシュ・フロー	-659	-2	-1,007	-2	-1,191	-21	-1,346	-5	-1,641
○ フリーキャッシュ・フロー ^{*2}	955	790	1,010	-579	533	1,702	393	865	888
■ 手元資金残高 ^{*3}	3,417	4,204	4,239	3,712	3,146	4,846	3,874	4,731	4,010

*1 投資キャッシュ・フローは、定期預金および短期投資の増減を除いた金額です。

*2 フリーキャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー（定期預金および短期投資の増減を除く）

*3 手元資金は、現金及び現金同等物と満期日または償還日までの期間が3カ月を超える定期預金および短期投資の合計額です。

自己株式の取得状況

■ 2023年7月31日現在

- 取得した株式の総数 3,069,200 株
- 株式の取得価額の総額 60,998,033,503 円

■ ご参考

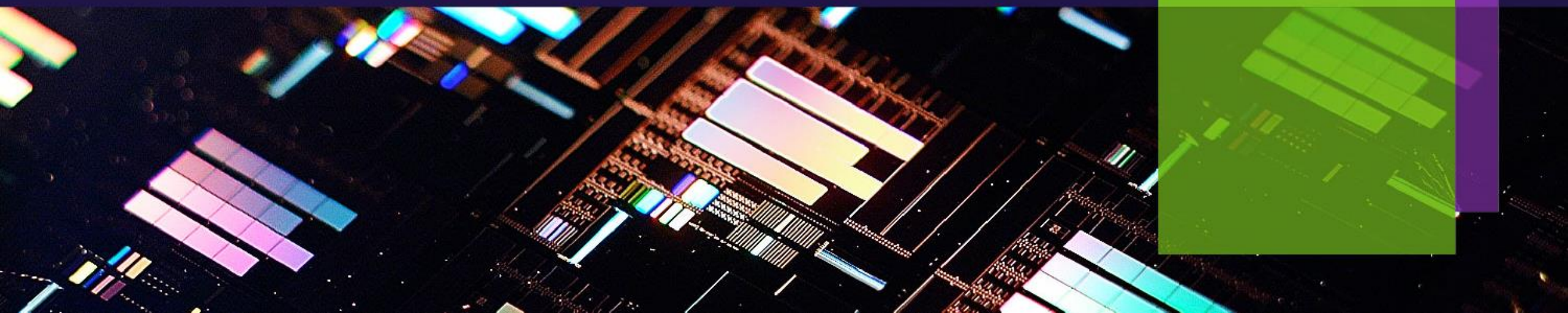
- 取得対象株式の種類 当社普通株式
- 取得し得る株式の総数 1,000 万株（上限）
（自己株式を除く発行済み株式総数に対する割合2.1%）
- 株式の取得価額の総額 1,200 億円（上限）
- 取得する期間 2023年6月1日～2023年12月31日



事業環境および業績予想

2023年8月10日

河合 利樹
代表取締役社長・CEO



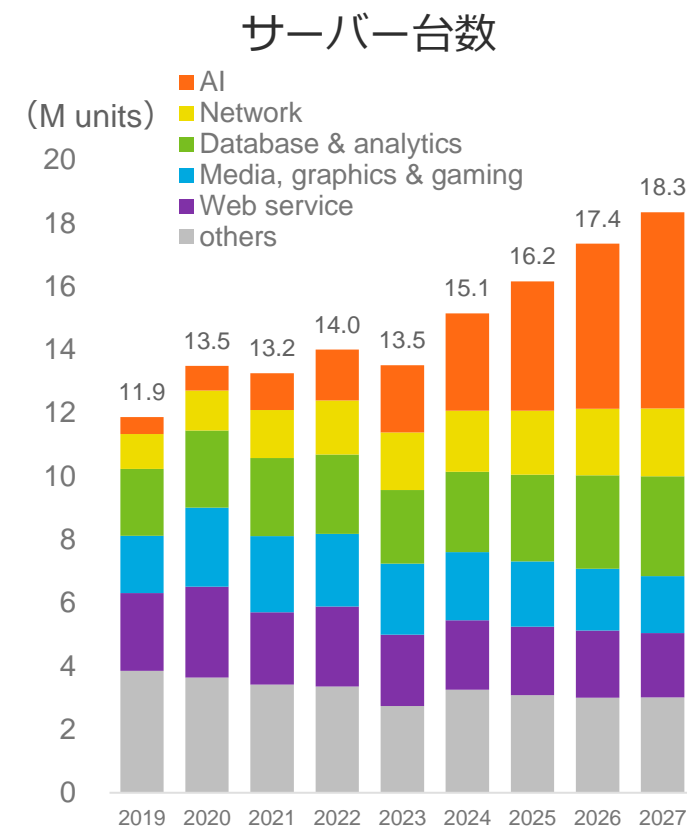
事業環境（2023年8月時点でのWFE市場の見方）

■ CY2023：通年の見通しは変わらず\$70~75B程度

- 先端ロジック/ファウンドリで投資遅延が見られるものの、成熟世代における中国顧客の投資は加速

■ CY2024/CY2025：2カ年合計で\$200Bの市場規模へ

- サーバーは中長期的に強い成長（CAGR 2023-2027：+8%）
- PC・スマートフォンの需要回復の牽引役：
 - インフレの緩和
 - コロナ期に購入した製品のリプレースメント
 - 企業のIT投資
 - PCはOSサポート終了に伴う需要喚起も期待
 - 新たなアプリケーションに対応した新機能



出典：Omdia

FY2024 Q1 事業進捗

■ 売上・利益ともに計画どおり着地

– 売上3,917億円、営業利益824億円、当期純利益643億円

■ 中期経営計画達成に向けた重要テーマが順調に進捗

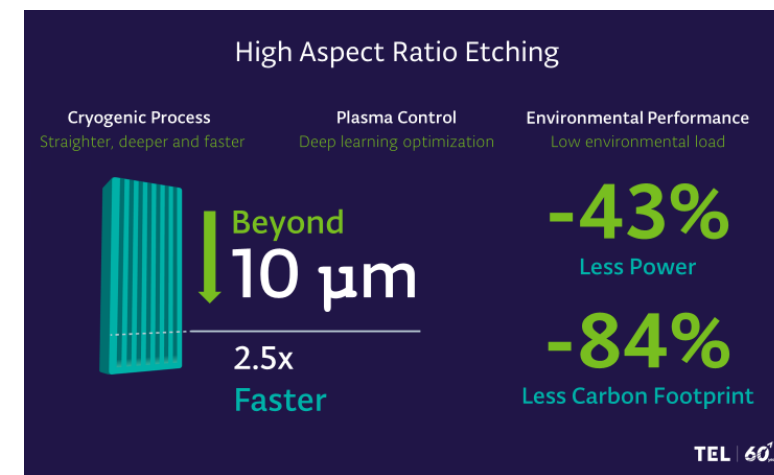
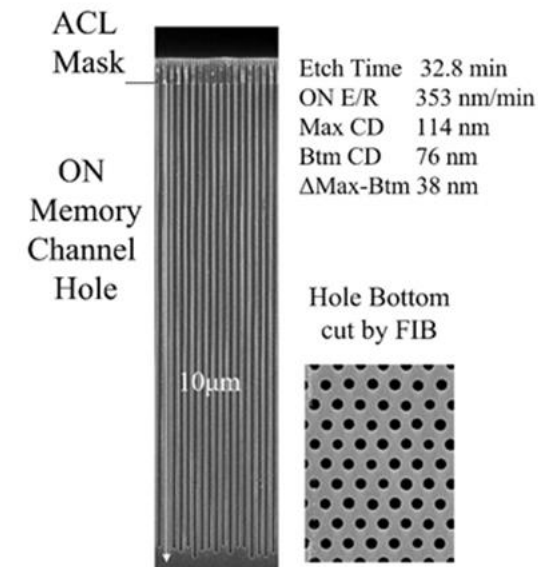
– 400層レベルの3D NAND Channel Hole向け新エッチング技術を発表

- 極低温にて絶縁膜エッチング速度を格段に向上
- 地球温暖化係数を従来比で84%削減

– 貼り合わせ接合技術の導入が加速

- DRAM HBM*向けの引き合いが大幅に増加
- 3D NANDや先端Logic領域でも開発評価進む

*HBM : High Bandwidth Memory



出典：TEL

FY2024 業績予想

FY2024 業績予想

(億円)

	FY2023 (実績)	FY2024 (予想)			
		H1	H2	通期	通期 YoY
売上高	22,090	7,900	9,100	17,000	-23.0%
売上総利益	9,844	3,330	4,080	7,410	-24.7%
売上総利益率	44.6%	42.2%	44.8%	43.6%	-1.0pts
販管費	3,666	1,720	1,760	3,480	-5.1%
研究開発費	1,911	950	1,050	2,000	+4.7%
研究開発費以外の販管費	1,754	770	710	1,480	-15.7%
営業利益	6,177	1,610	2,320	3,930	-36.4%
営業利益率	28.0%	20.4%	25.5%	23.1%	-4.9pts
税金等調整前当期純利益	6,248	1,620	2,330	3,950	-36.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,715	1,200	1,800	3,000	-36.4%
1株当たり当期純利益 (円)	1,007.82	256.21	-	640.53	-367.29

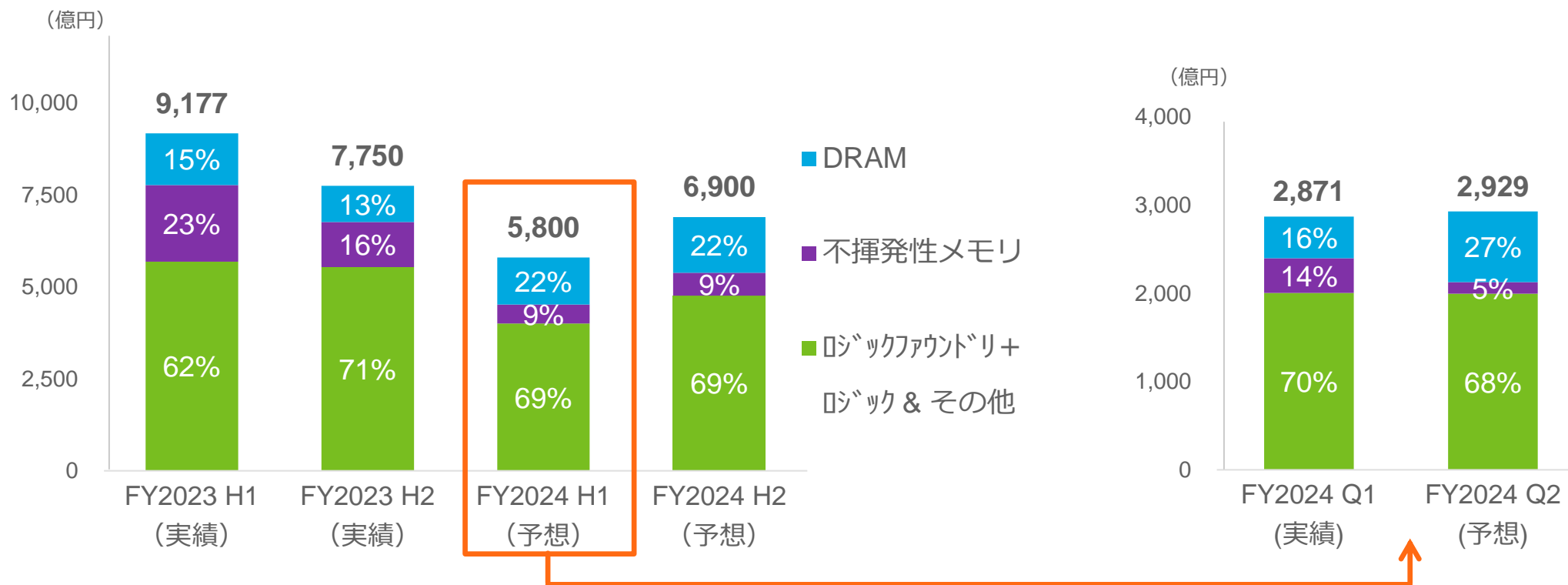
当社は、2023年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しています。
前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しています。

業績予想に変更なし。

販管費は前期比5%低減も、研究開発費は過去最大の2,000億円を見込む

FY2024 SPE新規装置売上予想

アプリケーション別売上構成比



グラフは新規装置の売上高における構成比を示しています。フィールドソリューション売上高は含まれていません。

計画に大きな変更なし

FY2024 研究開発費・設備投資計画

新開発棟

成膜装置、エッチング装置、コーポレート開発



山梨県富士川町
2023年7月 竣工

東北生産・物流センター

成膜装置



岩手県奥州市
2025年秋 竣工予定

新開発棟

コータデベロッパ、サーフェスプレパレーション



熊本県合志市
2025年夏 竣工予定

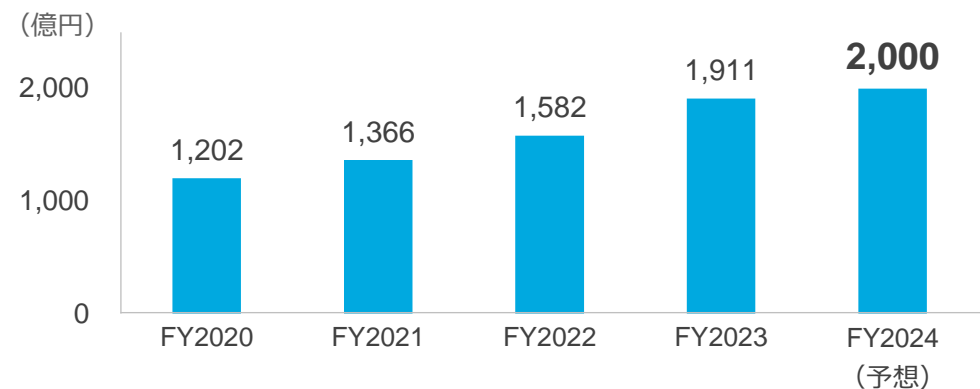
新開発棟

エッチング装置

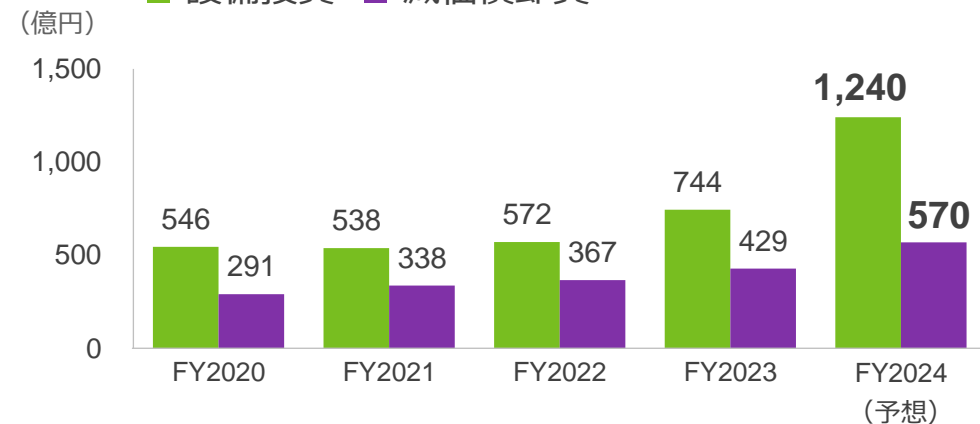


宮城県黒川郡
2025年春 竣工予定

■ 研究開発費



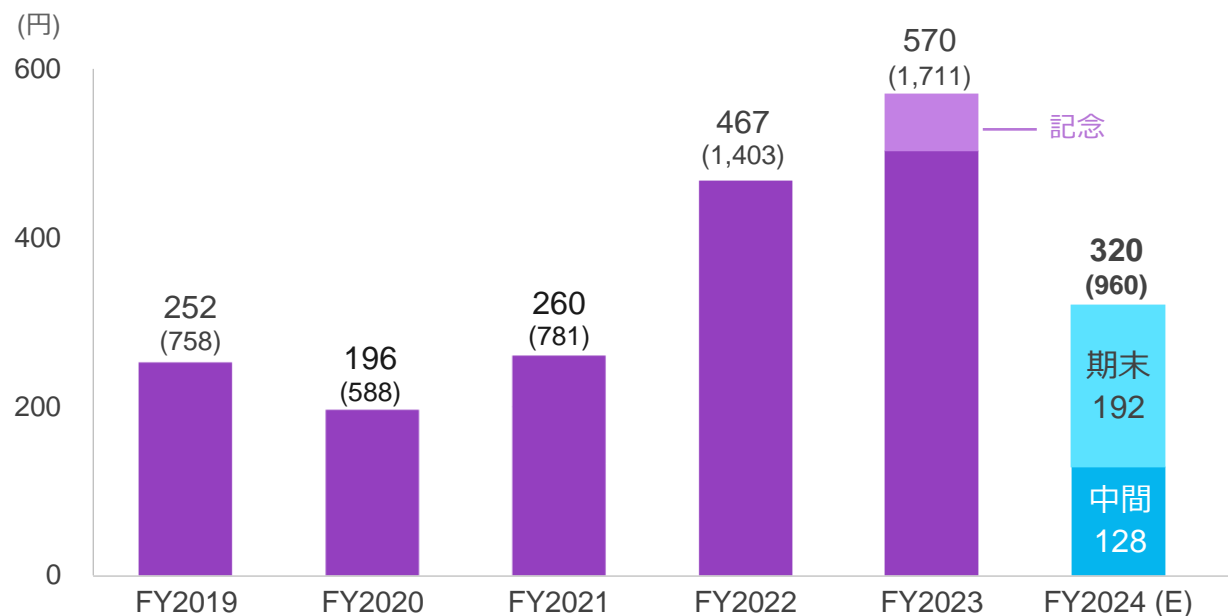
■ 設備投資 ■ 減価償却費



持続的成長を見据え、積極的な研究開発・設備投資を継続

FY2024 配当予想

1株当たり配当金



当社の株主還元策

連結配当性向：50%

但し、1株当たり年間配当金50円*を下回らない
2期連続して当期利益を生まなかった場合は、配当金の見直しを検討する

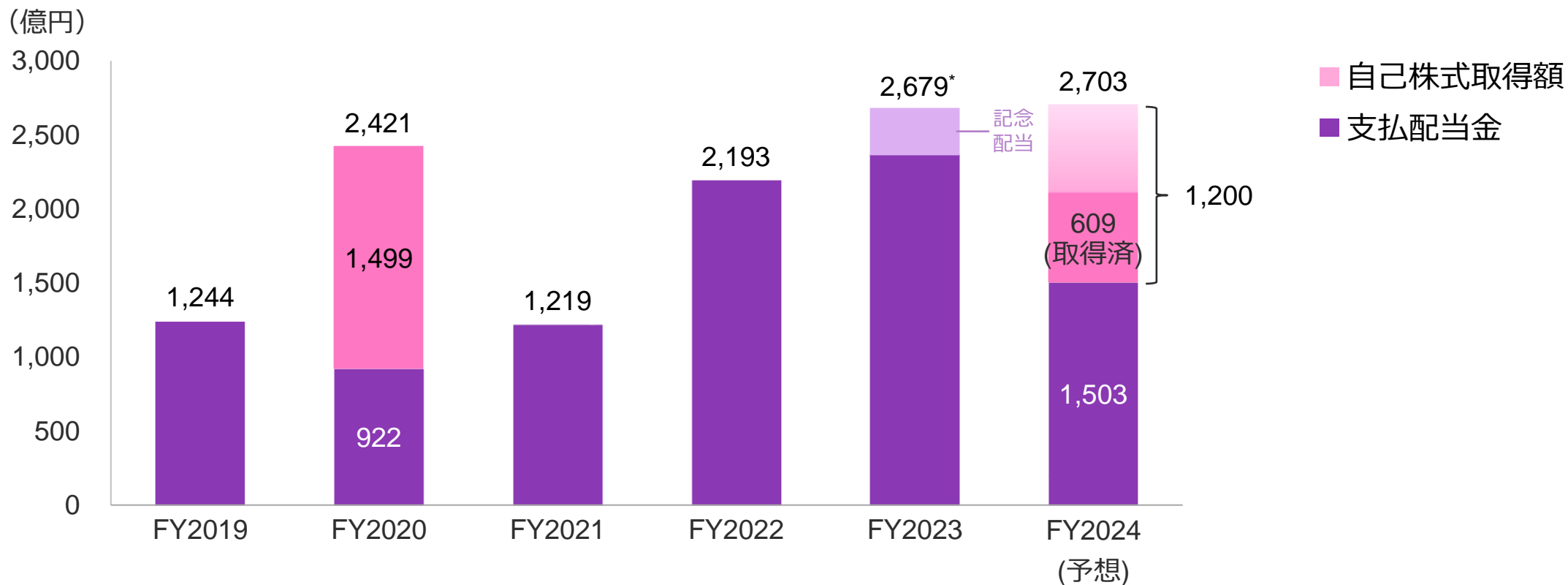
自己株式の取得：機動的に実施を検討

*2023年4月1日付の株式分割により、従来の150円から変更しております。

- FY2019～2023の1株当たり配当額は、FY2019の期首に株式分割がおこなわれたと仮定した金額を記載しています。
- FY2023には60周年記念配当が含まれます。
- 株式分割がおこなわれる以前の金額を（ ）内で記載しています。

本年4月1日付で普通株式1株を3株に分割。通期配当は320円を予定

総還元額



*FY2023の支払配当金2,679億円には記念配当分（313億円）が含まれます。

7月31日現在、306万9,200株、約609億円分の自己株式を取得

TEL | 60[↑] years